

# さらなる飛躍へビジョン発表

## 石川県宅建協会50周年式典

公益社団法人石川県宅建協会は21日、創立50周年記念式典をホテル日航金沢で盛大に開催し、官公庁や協会

関係団体・企業など、県内外から約300人が出席し、業界のさらなる飛躍を誓った。

はじめに、吉本重昭会



300人が出席し、半世紀の節目を祝った式典

長は1967年3月に創立し、2013年4月の公益社団法人への移行などを経て、激動の時代を乗り越えてきたと協会の歩みを紹介し、「これからも地域に必要とされる存在であるため、『ハトマーク・ビジョン石川』を策定し、会員業者と共に、描く未来の実現に向けて、地域に寄り添う真の存在（リアルパートナー）であり続けることを目指していきたい」と式辞。来賓の谷本正憲知事、北陸地方整備局の牧野浩志建設部長（局長祝辞代読）、伊藤博全宅連会長、米澤賢司県議会議長の順で祝辞を述べた。

感謝状の贈呈や県知事表彰などの後、「ハトマーク・ビジョン石川」をVTRで放映。この中で全国約10万社、県内約900社の会員間ネットワークを有する「スケールメリットを活かした情報共有と発信」など、取り組みべき4つの柱を掲げ、2026年目標である不動産・住宅市場の活性化とハトマーク会員の取り扱い件数の増加を目指すことを発表した。

引き続き、祝賀会を催し、山野之義金沢市長らも駆けつけ、和やかに歓談、半世紀の節目を祝った。

長は1967年3月に創立し、2013年4月の公益社団法人への移行などを経て、激動の時代を乗り越えてきたと協会の歩みを紹介し、「これからも地域に必要とされる存在であるため、『ハトマーク・ビジョン石川』を策定し、会員業者と共に、描く未来の実現に向けて、地域に寄り添う真の存在（リアルパートナー）であり続けることを目指していきたい」と式辞。来賓の谷本正憲知事、北陸地方整備局の牧野浩志建設部長（局長祝辞代読）、伊藤博全宅連会長、米澤賢司県議会議長の順で祝辞を述べた。

感謝状の贈呈や県知事表彰などの後、「ハトマ